

Web 情報紹介収載

Web 情報紹介【2022No.41】(HP 収載)

Web Site : Phileweb

URL : <https://www.phileweb.com/news/audio/202204/01/23228.html>

関連 URL : <http://art.pepper.jp/archives/003569.html>

記事題名 : 特殊フェルトを用いた“ターンテーブル整音機「TACU-1」

関連記事 :

管理者 : 音源出版

収載日 : 2022 年 4 月 1 日

備考 :



インフラノイズは、特殊フェルトを用いた“ターンテーブル整音機”「TACU-1」を4月下旬より発売するとのことです。

これまでのアキュライザーシリーズの効果は十分に認識していますので、発売の予告があり次第、購入を検討します。

「TACU-1」の概要は、上記サイトの記事とインフラノイズ社の資料の転載記事から要約、編集すると下記のとおりです。

レコードの再生は、レコード盤を回転させるモーター、制御電子回路、ベルト、ギヤ、アイドル、そして鳴きやすい円板などから構成されています。これらは音響的なノイズや電子ノイズを発生します。また、ターンテーブルの軸受けに使うオイル、軸受けやベアリングの摩擦音も問題です。従って、モーターの回転音、ターンテーブルの形状と素材、アイドルのゴム、ベルトドライブのベルト、材質などの組み合わせで複雑に音質が変わります。

ピアノは誰でも鍵盤を押せば音は出ますが、卓越したピアニストはタッチの強さや速度およびペダルの操作などで音楽表現を微妙に調整します。

本製品は、インフラノイズ社がピアノ奏法に於ける「ハーフペダル」の原理から着想を得たというアナログレコードプレーヤー用のアクセサリーであり、仕様は、品質の高いフェルトの形状をターンテーブルの響きを最適に整音するように加工、樹脂による音質調整を行なったとしています。

特に、フェルトの選択と加工はピアノメーカーによってノウハウがあるようで、ヤマハのピアノ工場の見学の TV 実況は、ハンマーのフェルトの加工でここからは立ち入り禁止という場面がありましたので、ペダルでもそのようなことがあるのではないかと推察します。

TACU-1 の設計にあたって、インフラノイズ社はこのようなフェルトの選択と加工にも注意を払っているようであり、フェルト以外の他の素材も含めて複合的に最適化しているように見受けられます。

即ち、効果としては、フェルトがターンテーブルの軸に触れることによりターンテーブルの響きを整音し、音質改善を図るという触れ込みです。

素材は、特殊フェルト、整振樹脂、セーム革を用いた構造となっており、レコードスタビライザーと同じような用法でスピンドルにセットし、セーム革の面を上面とすることで整音効果が見込めるとされています。

なお、EP アダプターを使用する 45 回転盤の場合は EP アダプターを抜いてから本品を差し込む利用を推奨しています。

このようにアナログ再生に特化した設計ですので、インシュレーターその他への転用は望ましくないということです。

仕様は次のとおりです。

内容：ターンテーブル用整音デバイス

外形寸法：直径 32mm×厚さ 11mm

重量：4.5g

構造：特殊フェルト、整振樹脂、セーム革

価格：¥14,800.-（税込み）

以上